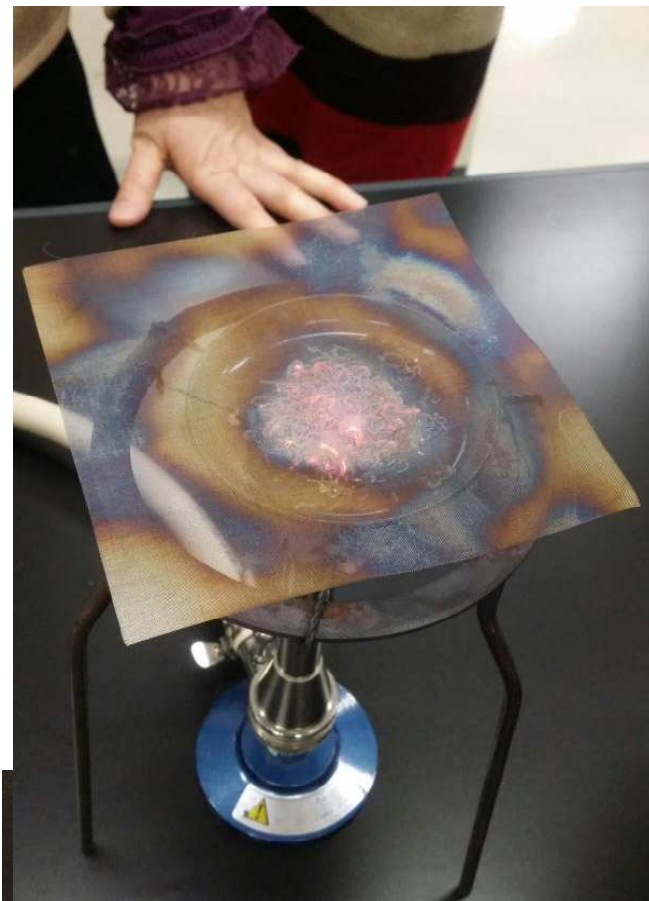


←①削状マグネシウム
写真の左側のものの方がデータがよい。鉛筆削りの削りカスの感じ。
写真の右側の方は、データとしてはよくない。花鱈の感じ。マグネシウムリボンを切ったときのような感じになる。



←②ガスバーナーで加熱する
これで 0.8 g 程度。ある程度固めておいた方が全部燃焼しきるにはよい。
延ばしてすきまが多いと燃焼しきれない部分が残ることがある。
ガスバーナーは強火にする。中火や弱火では燃焼が始まらない。
(ガスバーナーでなくても、カセットコンロでも、強火なら燃焼させることができる)



←③燃焼中は金網をかける
写真は燃焼中の撮影。
金網をかぶせているせいで、目立つほどの白煙は出ていない。
今回の実験では 100 メッシュのステンレス製金尾編みを使った。
マグネシウムが赤く燃焼するのが透けて見える。直接肉眼で見るとまぶしいほどだが、それはない。

↓④燃焼後の金網
酸化マグネシウムであろう白色の粉末が付着している。

